5歳児 つき組 指導案

- 1 幼児の姿(1学期)と教師の願い(省略)
- 2 期のねらいと内容(V期)

〈ねらい〉

- 身近な事象を見たり触れたりする中で、発見したり、感動したりすることを楽しむ。
- 友達と共通の目的をもって遊びに取り組む中で、一緒に活動する喜びや満足感を味わう。 〈内容〉
- 友達との遊びの中で、十分に自己を発揮し、思いを伝え合いながら遊ぶ。
- 思ったことや考えたことを,互いに出し合い,自分なりのイメージに合わせて,工夫したり 試したりする。
- 運動遊びに興味をもち、進んで体を動かす。
- 音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を使ったりして、感じたままに自由に表現する。
- 木の葉の色の変化を見たり、落ち葉や木の実を使って、いろいろな遊びをしたりする。
- **3 週のねらいと内容** (10月30日~11月3日)

〈ねらい〉

- 自然の変化を感じながら戸外遊びを楽しむ。
- 友達とイメージを出し合ったり、協力し合ったりして遊ぶ楽しさを味わう。 〈内容〉
- 戸外で遊ぶ中で、風の冷たさや日差しの暖かさを感じる。
- 木の実や落ち葉を使って工夫して遊ぶ。
- 苦手なことにも挑戦しようとする。
- 自分の考えや思いを言葉で伝える。
- 友達と共通の目的をもって遊ぶ。

4 本日の指導計画

(1) ねらい

- 秋の自然物を使って、自分なりに考えたり友達と一緒に工夫したりして遊ぶことを楽しむ。
- 友達と共通の目的をもち、友達のよさに気付いたり友達と協力したりしながら遊ぶ楽しさを 味わう。

(2) 予想される幼児の生活・内容と教師の援助・環境構成

時間	予想される幼児の生活・内容	教師の援助・環境構成
8:30	〈登園〉	○一人一人の幼児と明るくあいさつを交わし,心身
	○登園時の活動をする。	の状態を把握する。
8:50	○好きな遊びをする。	○花の植えかえ時季なので、季節の花の名前や色の
	・花に水をやりながら、花の	違いなどに興味がもてるような言葉をかけたり幼
	名前や色や形に関心をもつ。	児の気付きに共感したりする。
		○幼児が,周囲の様子を見ながら安全に気をつけて
		自分たちで遊びの場を決めたり、気を配ったりす
	・ドッジボールでボールを投	る姿を認めていく。
	げたり素早く身をかわした	○ルールを互いに確認し合う姿を見守り, 折り合い
	りする。	がつかない時には教師も一緒に考えて、みんなが
	・ルールを守って遊ぶ。	ドッジボールを楽しめるようにしていく。

- ップをする。
- ・秋の自然物を使って製作を

(数珠玉通し, ドングリゴマ ドングリ迷路 等)

- 使ったごっこ遊びを楽しむ。
- する。
- せて体を動かすことを楽し む。

9:50

10:00

- ○片付けをする。
- ○降園時の活動をする。
 - ・降園準備をする。
 - 歌を歌う。 「ともだちいいね」
 - ・当番があいさつをしたり、 歌を歌ったりする。
 - て話したり, 友達の話を聞 いたりする。

10:15

〈降園〉

- ・友達と一緒にスイングスキ □スイングスキップを友達と一緒に回すことを楽し みながらも、挑戦しようとする年少児にやり方や コツを伝える姿を認めていく。
 - ○絵本や図鑑などを用意しておき、様々な秋の自然 物を通して、それらの美しさやおもしろさにより 気付けるようにする。
- ・友達と一緒に秋の自然物を ○教師も参加してごっこ遊びを楽しみながら、自然 の不思議さや楽しさを共感する。
- ・自転車や一輪車などに挑戦 ○コマなし自転車や一輪車, 鉄棒などに挑戦する姿 を認めながら、教師も一緒に付き合ってアドバイ スし、少しずつできるようになっていく喜びを共 感する。
- ・友達と一緒にリズムに合わ ○互いにまねあったり見せ合ったりすることを楽し めるように、幼児と相談して見る場所を作ったり 小道具を準備したりする。
 - ○自分たちで相談して曲を選べるように、わかりや すく表示しておく。
 - ○手際よく片付けたり、片付け忘れがないかの確認 をしたりする姿を認めていく。
 - ○歌詞に込められた友達への思いを感じながら友達 と一緒に心を合わせて歌う心地よさを教師も共感 していく。
 - ○意欲的に取り組む当番の姿を紹介し、他の幼児の 前であいさつをしたり自分たちで相談して決めた 歌を楽しんで歌ったりする姿を認め、自信につな げていく。
- ・今日楽しかったことについ ○今日の楽しかった活動について話し合い、明日の 活動に期待をもって降園できるようにする。
 - ○他の幼児の思いや考えを聞いて、自分の考えと比 べたり共感したりする姿を受け止めていく。
 - ○幼児一人一人と丁寧にあいさつを交わし、保護者 に連絡事項や今日の様子を伝える。

5 評価 (○:幼児 ●:教師)

- 幼児一人一人が自分なりに考えたり、友達と一緒に工夫したりして表現を楽しむことができ
- 友達と一緒に、共通の目的をもち、友達のよさに気付いたり協力したりしながら遊ぶことを 楽しめていたか。
- 幼児が友達と思いを出し合い、挑戦したり工夫したりすることを楽しめるような環境構成が できていたか。
- 友達と役割を決めながら、自分たちで遊びを進めようとする姿や自分の役割を果たそうとす る姿を十分に認め、幼児同士が友達のよさを感じられるような援助ができていたか。